

平成28年度第4回亀岡市文化財保護委員会 会議録要旨

1 日時 平成29年3月28日（火）午後1時30分～午後4時30分

2 場所 亀岡市役所 401会議室

3 出席委員

井本	伸廣	委員
加藤	美智恵	委員
川端	秀昭	委員
永光	寛	委員
長谷川	澄夫	委員
山下	ひろ子	委員
鵜島	三壽	委員
嵯峨根	彰	委員
豊田	知八	委員

4 欠席委員

安藤	信策	委員
藤井	健三	委員
深町	加津枝	委員

5 出席事務局職員

河原	社会教育課長
土井	社会教育課文化財係長
中澤	社会教育課文化財係主任
齋藤	社会教育課文化財係主査
飛鳥井	社会教育課文化財係主事
黒川	亀岡市文化資料館長
長谷屋	亀岡市文化資料館主事
樋口	亀岡市文化資料館文化財専門官

6 傍聴者 なし

7 議事の概要

(1) 開会

永光会長あいさつ

(2) 議事

亀岡市未指定文化財の指定について（審議）

前回の委員会の意見を踏まえて調書案を修正し、再審議を行った。

○調書案をもとに、委員から次の質問、意見があった。

◆石灯籠の審議について

- ・基礎より上部について、中粒黒雲母花崗岩というのは合っているのか。
- ・石材の産地はどこか。

◆金刀比羅神社 奉納船の審議について

- ・江戸時代に流行したのは金刀比羅講ではなく代参講である。訂正してほしい。
- ・昭和45年銘以降のものについては現在のものと同じ形であり、「裏川型」という。
- ・指定後の保存方法が課題であると思う。
- ・文章をよりコンパクトにしたほうがよいと思う。精査をお願いしたい。
- ・昭和45年銘の船の内容を加えてほしい。

◆保津川船下り操船技術について

- ・今回は「操船技術」に絞る。川作、道具の技術については文章中に含める。
- ・地縁血縁によって伝承されてきたとあるが、公募など船頭の範囲は拡大してきており、この表現には語弊がある。訂正をお願いしたい。
- ・操船の中には、「舟を縦にする」というような表現がある。こうした保津川操船のユニーク性のある記述を加えてみてはどうか。

○審議後に出席委員にて指定候補について採決を行い、承認された。

意見を基に答申案を完成させて、教育委員会へ答申することが決定した。

○事務局より、リストや市史を基に文化財指定を行う方向で考えており、文化財保護委員会でリストについて検討していきたいという旨を説明した。

(3) その他

千代川遺跡現地説明会資料、市の象徴選定文について共有した。

(4) 閉会